

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 14 号

2011 年 8 月 29 日

道総研 中央水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道南日本海スルメイカ調査結果 (金星丸 : 8/22~8/26 の調査)

分布密度は沿岸で高く、外套長モードは 21cm

1. スルメイカの分布密度 (図 1)

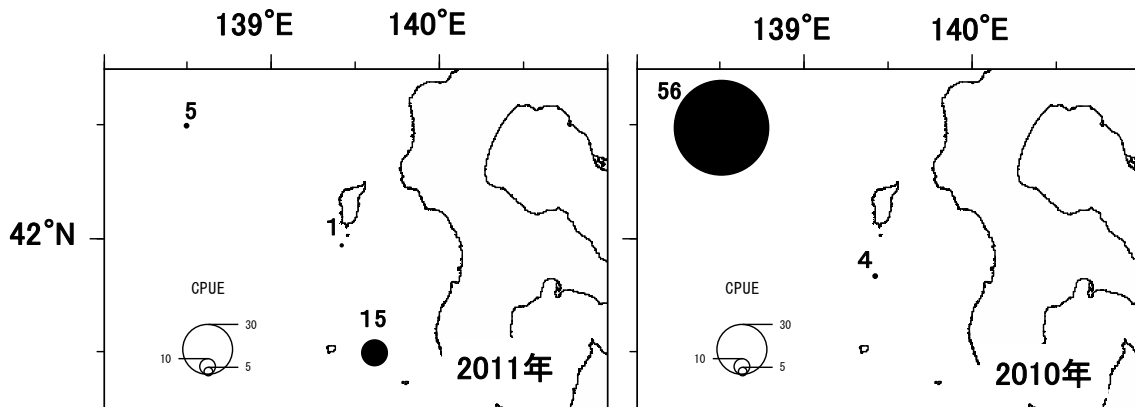


図 1 道南日本海におけるスルメイカの分布密度

図中の数字は CPUE (自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) の値

スルメイカの分布密度 (CPUE) は、松前沖で 15 と高く、奥尻沖が 1、沖合の調査点で 5 と低くなっていました (図 1)。平均 CPUE は 7 と昨年 (30) よりも小さくなっていました。

2. 水温分布図 (図 2)

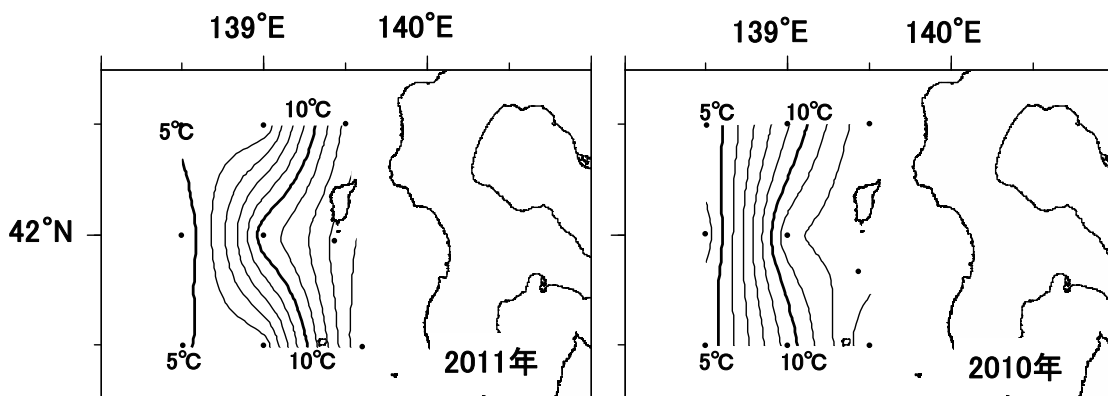


図 2 道南日本海における 50m 深水温分布図

調査海域の 50m 層水温は、4.2~15.1°C (前年 : 3.5~14.0°C) でした (図 1)。また、調査海域の表層水温は 24.0~25.3°C (前年 : 23.8~26.3°C) でした。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカ外套長の範囲は16cmから29cmでモード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は前年と同じ21cmでした(図3)。ほぼ前年並みの外套長組成となっていました。

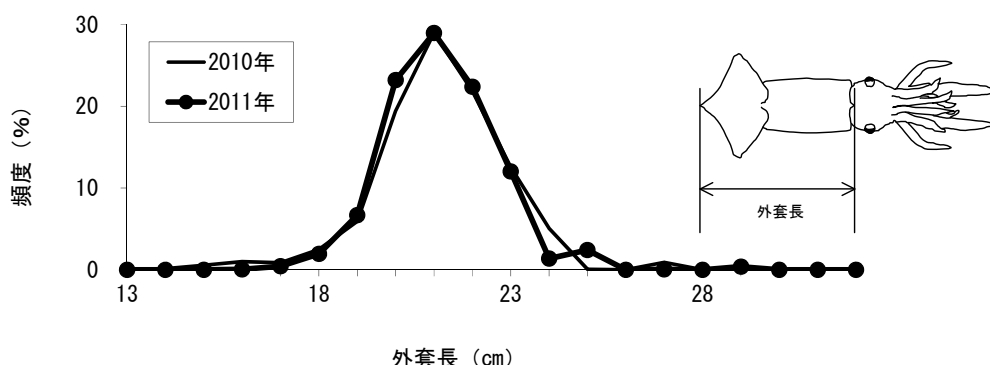


図3 外套長組成図

4. 標識放流

1調査点で合計505尾のスルメイカに標識をつけて放流しました(図4、表1)。標識は裏面にJPNと記載されている「黄色アンカータグ, J30-J35」です。標識のついたスルメイカを再捕された方は、お近くの水産試験場までご報告いただきますよう、よろしくお願いいたします。

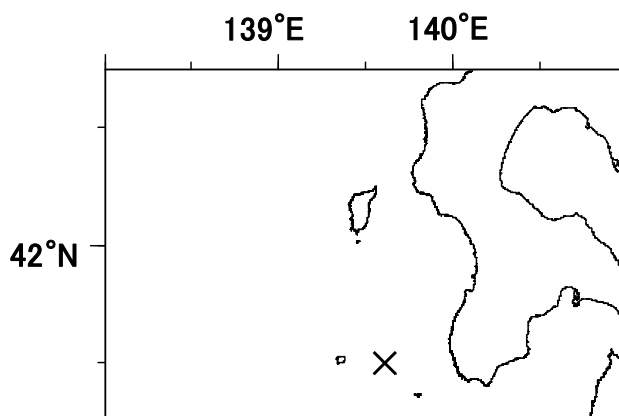


図4 標識放流地点

表1 標識放流情報

放流位置	放流尾数	標識種類	標識番号
41-30N 139-37E	505	黄色アンカータグ	JPN-J30~J35

(文責:中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)